事 前 評 価 個 表

事業名	森林玩	景境保全整備事業(国有林)	事業計画期間	平成24年度~平成28年度			
事業実施地区名 (都道府県名)		(せとうち) 瀬戸内森林計画区 (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署			
事業の概要・目的		いる。 機能類型別には、水土保 %)、資源の循環利用林478h 当計画区では、林産物の とより、自然環境の維持、 等の機能発揮のみならず、 森づくりなど多様化してい このため、本事業におい 化防止にも積極的に寄与す 率的な森林整備を推進する 分に応じた適切な森林整備 ・主な事業内容	瀬戸内森林計画区は広島県の南東部に位置し、国有林野14,688haを対象としている。 機能類型別には、水土保全林11,874ha(81%)、森林と人との共生林2,336ha(16%)、資源の循環利用林478ha(3%)となっている。 当計画区では、林産物の持続的な供給を通じた、地域産業の振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全等の機能発揮のみならず、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。 このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。				
費用対効果分析		・総事業費 総 便 益(B)		1,509,240 千円 6,037,623 千円			
		総費用(С)		1,904,444 千円 3.17			
評価結果 ・必要性: 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健体質的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり必要性が認められる。 ・効率性: 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性: 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域を表えた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発掘られることから、事業の有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効場を観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林でき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が発画されていると認められる。							

別紙様式7

整理番号 14

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業 事業実施主体:近畿中国森林管理局

事業実施地区名: 瀬戸内森林計画区 広島森林管理署

(都道府県名:広島県)

(単位:千円)

	Т	<u> </u>	(単位:十円)
大 区 分	中 区 分	評価額	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,131,427	
	流域貯水便益	487,679	
	水質浄化便益	832,576	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,995,160	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	568,190	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	113,685	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	54,763	
	木材利用増進便益	18,007	
	木材生産・確保増進便益	398,308	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	294,947	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	103,361	
森林整備経費縮減 等便益	造林作業経費縮減便益	379,073	
	森林管理等経費縮減便益	4,758	
	森林整備促進便益	53,997	
総便益 (B)		6,037,623	
総費用 (C)		1,904,444	
費用便益比(B/C)		3.17	

森林環境保全整備事業 瀬戸内計画(広島県) 事業概要図

対象計画区拡大図

